



行谷小学校 学校だより

日本一のトキの学校

# トキっ子

第5号 [9月号]



令和元年9月20日発行

シリーズ「新しい時代の幕開け」

## 東京2020を応援しよう！ 車いすラグビー

校長 笠井 猛雄



東京2020オリンピック、パラリンピック開催まで1年を切りました。  
オリンピックは、2020年（令和2年）7月24日から8月9日までの17日間、史上最多の33競技・339種目で開催されます。

パラリンピックは22競技540種目に史上最多の4,400人の選手が参加し、8月25日の開会式翌日から9月6日の閉幕まで、12日間に渡って行われます。

2学期の始業式で、パラリンピックについて話をしました。

このマーク（右図）は何のマークか分かりますか？  
このマークは、東京2020パラリンピックのマークです。  
パラリンピックは、身体に障害のある人たちが競い合う大会です。  
陸上競技、バレーボール、テコンドー、車いすフェンシングなど、22の競技があります。



3年前のリオのパラリンピックでは、ボッチャという競技で日本は銀メダルでした。  
リオでは、もう一つ、団体競技で銅メダルを取りました。  
車いすラグビー（ウィルチェア・ラグビー）という種目です。  
車いすラグビーは、車椅子競技の中で唯一、相手に自分の体と車いすをぶつけて、タックルすることが許されている競技です。  
車椅子ごと体当たりするので、骨折したり、大怪我をしたりすることもあります。  
昨年の世界選手権で日本代表は、世界1位のオーストラリアを破って優勝しました。  
最年少で世界選手権に出場した橋本勝也選手を子どもたちに紹介しました。



橋本選手は、生まれつき足に障害があり、両足は太ももから下がありません。生まれた時から指が二本ずつしかありません。生まれてからずっと立ち上がることができずに、車椅子の生活を送っています。  
橋本選手は現在16歳です。中学生から車いすラグビーを始めて、日本代表選手に選ばれました。  
橋本選手の目標は、世界最強のラ일리・ハット選手を越えることです。そして、パラリンピックに出て金メダルを取ることです。

車いすラグビーの練習をする橋本選手の様子を動画で視聴しました。  
橋本選手は、障害を乗り越え、障害を意識せずに夢中になってプレーしていました。  
橋本選手は、自分を高めてくれるこの競技に出会えたことに感謝しているそうです。  
そして何よりも、目標の選手や夢をもっていることが、橋本選手にとって大きな力になっていると思います。

令和は子どもたちの時代です。  
橋本選手のように、夢や目標をしっかりと持って、苦しくても最後まであきらめずに、自分の力を思い切り発揮してほしいと思います。  
2学期も、子どもたち一人一人の活躍を期待しています。